



なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

改めて交通安全を願います

校長 山崎 薫

酷暑の夏となりました。コロナ感染防止と並行して熱中症対策もあり、健康面では一段と気を付けて過ごされたことと思います。本日より夏休みが明け、子どもたちの声が校舎に響きわたりました。久しぶりに顔を合わせた友達や先生と夏の出来事を語り合っている姿もたくさん見ることができました。これからも再び、学校生活を送る中で、喜び合ったり、励まし合ったり、高め合ったりする機会が多くあることを願うばかりです。

さて、夏休み中のある日、私は校長室の書棚に保管してある書類の整理をしました。普段は作成したり受け取ったりした書類を綴じこむことが多く、ファイルは分厚くなる一方ですが、内容によって保存年限が決められています。そこでこの時期に点検をし、保存年限を過ぎたものはシュレッダー処分することにしていきます。

作業も半ばを過ぎたとき、保存年限の長いかなり厚いファイルを手に取りました。ファイルの下のほうにある古い書類を何気なく開けたとき、私は衝撃を受けました。その内容は、児童の交通死亡事故に関するものでした。何かにとりつかれるように私は書類に目を通しました。かつて本校においても、このような痛ましい事故があったことを知り、大きなショックを受けました。

もしそのとき、児童と車の動きが少しでもずれていれば、この子は何事もなく友達と仲良く下校し、翌日も元気に登校していたはずです。現在では、社会でご活躍されているはずですが、一瞬の不幸な出来事で、この方は永遠に小学生の児童のまま人生が止まってしまっているのです。

校長室に長い間眠っていた惨事を伝える書類が、再び私の目に触れることになりました。もしかしたら、この亡くなった方が、手にしたファイルのこの書類に私の手を導いたのではとすら感じました。そして、現在在学中の児童に交通安全をしっかり啓発してほしいとお願いされているように感じ、今回、この巻頭言に記させていただきました。併せて、故人様のご冥福をあらためて心より祈念する次第です。

統計的に9月1日は児童生徒の自殺が最も多い日と言われています。夏休みの生活から学校生活に戻る際に大きな壁を感じる事が大きいようです。時間の使い方、友人関係や周囲への気配りなどが過大な負担となって、絶望感が高まるという実態があるようです。交通事故と共に防がなくてはならない自殺。この時期、一層、寛容の心をもって、不安な気持ちに寄り添いつつ応援していきたいと思います。お子さんのことで、お気づきやご心配のことがございましたら、ぜひ、学校にもご連絡をいただきたく思います。共に見守ってまいりたいと思います。よろしくお願ひします。